

■ 北方教育の提唱者

成田 忠久

なりた ちゅうきゅう

出身地 男鹿市

1897年（明治30年）～1960年（昭和35年）

小学校の代用教員となり、自由教育を実践。北方教育社を創立、教育雑誌『北方教育』を創刊。生活綴り方を中心とする地域的な民間教育運動の先駆となる。運動は全国的な共感を呼び、北日本国語教育連盟の結成に発展。



年譜

- 1897年 男鹿市に生まれる。旧姓・加藤。
- 1915年 仙台北部逓信局通信生養成所卒業。
- 1921年 浜田高等尋常小学校代用教員。自由教育を採用。
- 1925年 秋田市で豆腐製造業、綴方教育に取り組む。
- 1929年 北方教育社を創立。『くさかご』を創刊。
- 1930年 雑誌『北方教育』を創刊。
- 1933年 秋田市で北方教育第一回教育講習会を開催。
- 1952年 平凡社編集部に入社。『綴方風土記』を編集。
- 1958年 著書『図解による新日本地理』全15巻を出版。
- 1960年 東京都で没。63歳。